

事務事業名	清嵐荘整備事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	観光振興グループ	課長名	安部哲男
施策名	(36)観光の振興	担当者名	渡部喬	電話番号	0854-40-1054 (内線) 2431
目的	対 象 A)市外の人 B)市民 意 図 A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらおう。 B)観光情報を発信する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 4 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 0 0 1	清嵐荘整備事業 清嵐荘整備事業	
基本事業名	(106)受け入れ体制の充実				
目的	対 象 観光客 意 図 気持ち良く観光し、宿泊できる。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 年度 ~ R元 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
築50年を超える老朽化が著しい施設を、魅力ある宿泊施設とするため清嵐荘を再整備を行った。「出雲湯村温泉郷」のブランド構築を図り、雲南市全体の観光振興と経済効果の波及を目指している。 令和元年11月19日にリニューアルオープンした。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
		① 宿泊・管理棟建築工事 (建築主体・機械設備・電気設備) ② 備品購入等	事業完了			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 清嵐荘運営日数	日	301	0	134	-
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象 (誰、何を対象にしているのか)	観光客	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
			ア 市内観光入込客数	千人	1,389	1,297	1,457	-
			イ 清嵐荘宿泊者数	人	5,021	0	3,464	-
			ウ					
	② 意図 (対象がどのような状態になるのか)	ゆったり、くつろげる温泉宿泊施設とすることにより観光客の満足度をアップさせる。	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
			ア 観光消費額推計	百万円	3,739	3,212	3,555	-
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
報償費 100千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
需用費 4,530千円		県支出金	千円			
役務費 967千円		地方債	千円	79,800	444,600	1,199,600
委託料 5,434千円		その他	千円			82,300
工事請負費 1,176,150千円		一般財源	千円	9,966	1,380	141
備品購入費 94,585千円	事業費計 (A)	千円	89,766	445,980	1,282,041	
負担金 275千円	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3
計 1,282,041千円		延べ業務時間	時間	1,645	1,645	2,450
【財源】過疎債、大規模基金繰入金		人件費計 (B)	千円	6,707	7,126	10,388
	トータルコスト(A)+(B)	千円	96,473	453,106	1,292,429	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
訪日外国人観光客の増加に伴い、市内においても訪日外国人観光客を意識した施策が進められるようになった。しかし、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、訪日外国人は大幅に減少している。	早期に指定管理者を選定し、運営者の意向がなるべく仕上げに反映できるよう配慮した。	今後、清嵐荘の周辺整備を求める声がある。市内宿泊者を増やす取り組みを求める意見がある。清嵐荘整備に合わせ、周辺観光の活性化を求める声がある。

事務事業名	清嵐荘整備事業	所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →																			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →																			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	基本設計・実施設計に基づく事業であるため、成果向上余地はない。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																				
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	「出雲湯村温泉郷」のブランドを構築し、雲南市全体の観光振興を図るためにはこの事業は必要である。																	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																				
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業はない。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない																				
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		「出雲湯村温泉郷」のブランドを構築し、雲南市全体の観光振興を図るためには必要である。が、事業費抑制も視野にいれながら遂行していく。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		最低限の人員であるため、削減余地はない。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		雲南市全体の観光振興を目的としている。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																				
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																		
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		平成24年から建て替えの構想に着手し、令和元年8月30日に本体工事が完成。外構工事等を経て11月19日にオープンした。市民の皆様にご意見をいただき、完成を迎えることができた。																	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
令和元年11月19日にオープンし、本事業の整備は完了した。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			

3 今後の方向性【PLAN】